

## 2013 年春季研究交流集会 プログラム

日時：2013 年 3 月 16 日(土)、17 日(日)

会場：コラッセふくしま 多目的ホール

主催：基礎経済科学研究所、日本学術振興会アジア研究教育拠点事業

助成：福島大学学術振興基金

全体テーマ「人間の安全な発達保障とコミュニティ」

### 【第 1 日目】

全体会 1 13:00-17:00

共通セッション I 「核と人類は共存できるか：3・11 から 2 年、あらためて人間の安全な発達保障を考える」

第 1 部 基調講演

司会：後藤康夫（福島大学、福島）

1：山田舜（元福島大学長、福島県原爆被害者協議会会長、福島）

「ヒロシマからフクシマへ ―被爆と被曝の体験から―」

2：ニディア・リーフ（おばあちゃんたちの平和旅団、ニューヨーク）

「同じ地球に生きる私たち―9 条は世界が必要としている―」

※通訳：尾川寿江（コードピンク・ジャパン、大阪）

第 2 部 パネル・ディスカッション

司会：後藤宣代（福島県立医科大学、福島）

パネリスト 1：山田舜(福島)

パネリスト 2：ニディア・リーフ（ニューヨーク）

パネリスト 3：藤岡惇(立命館大学、京都)

「軍事攻撃されたら原発はどうなるか―原発と憲法 9 条の関係を考える」

パネリスト 4:乗松聡子 (Peace Philosophy Centre 主宰、カナダ・バンクーバー)

懇親会 17:30-

(ホテル福島グリーンパレス、レストランこけし)

### 【第 2 日目】

分科会 10:00-12:00

分科会 A 「運動論」 司会：倪卉（京都大学・非）

大西広（慶応義塾大学）：「労働組合指導部に問われているのは成功事例から真面目にまなぶこと」

藤田明史（立命館大学・非）：「松川事件と現代―人間発達と人権の視点から考える」

小野満（基礎研所員）：「1957 年阿武山原子炉（大阪・茨木市）設置反対運動に学ぶ」

分科会 B 「公平と平等」 司会：増田和夫（京都経済短期大学）

増田和夫（京都経済短期大学）「災害時の非常電力問題―被災時障害者支援の観点から」

清水伸子（兵庫柔整専門学校・非、神戸大学・非）・篠原真紀子（甲南女子大学・非）「障がいの

ある人たちからの創出～南相馬発の実践より～」

大和田ゆみこ「南相馬 現場からの報告」

分科会C「震災復興」 司会：中谷武雄（基礎研理事長）

中谷武雄（基礎研理事長）「新しい経済学」

池田清（神戸松蔭女子学院大学）「災害復興学：復興の思想、政策、まちづくり」

広原盛明（元龍谷大学）「大震災カタストロフィーの復興理論：国土・都市計画の編纂を通じて」

北野正一（兵庫県立大学・名）：「東北の一次（生態）産業復興について」

分科会D「経済分析」 司会：巖成男（福島大学）

中野裕史（関西大学マイノリティ研究センター）「若年労働市場の構造変化とワーキングプア」

森本壮亮（京都大学・院）「日本資本主義の蓄積構造の変化について－利潤率の傾向的低下法則との関連で－」

田添篤史（京都大学・非）「利潤率の傾向的低下法則に関する実証分析における諸概念範疇の検討」

伊藤明洋（基礎研所友）「著作権と情報経済」

12:00-13:00 昼食休憩

女性研究者の交流会：女性と学問と生活を語ろう（その3）

共通セッションⅡ 13:00-16:00

1 テーマ：「3・11が問いかけるもの、そして3・11から始まる新しいもの」

2 司会：藤岡惇

3 報告者：

A 3・11が問いかけるもの（各報告30分）

① 大内秀明（東北大学・名）・半田正樹（東北学院大学）・田中史郎（宮城学院女子大学）  
「3・11大震災と文明の大転換－W. モリスと宮沢賢治からのメッセージ」

② 森岡孝二（関西大学）

「原発暴走を許した日本の政治経済システムを問う－原発、過労死、貧困の根源にあるもの－」

討論（20分）

休憩（10分）

B：3・11後に立ち上がったフクシマの市民運動（各報告20分）

報告

③ 後藤宣代（経済学・福島） 女性

④ 小林悦子（ぜえねの会・福島） コミュニティ

⑤ 藍原寛子（フリージャーナリスト・福島） ネット・独立メディア

討論（20分）

C：全体討論（10分）